

ハザードマップの見方・内水と洪水の違い

ハザードマップの見方

- ①自宅や勤め先、学校などの周辺の浸水状況や危険箇所をハザードマップで確認しましょう。
- ②指定避難所や避難経路、家族との連絡手段などを、みんなで話し合います。
- ③安全な避難行動をすぐに取れるように、日ごろから備えを確認しましょう。

1 自宅や勤め先、学校などの周辺の危険箇所をハザードマップで確認しましょう。

2 あらかじめ、指定避難所や避難経路、家族との連絡手段などを話し合います。

3 いざというときの安全な避難行動、日ごろからの備えを確認しましょう。

あわせて、洪水・土砂ハザードマップも確認しましょう。

- WEB版ハザードマップ <https://www.city.togane.chiba.jp/hazardmap/>
- 洪水・土砂ハザードマップ <https://www.city.togane.chiba.jp/000013179.html>

内水氾濫と洪水の違い

内水による浸水と、洪水（外水）による浸水は、発生するメカニズムが違います。洪水は河川から水が流出して浸水しますが、内水は雨の水が排水できずに浸水します。

内水による浸水（内水氾濫）

雨の量が下水道や道路側溝などの排水施設の能力を超えたり、河川の水位が高くなったとき、雨水を排水できずに、浸水することがあります。

洪水（外水氾濫）

大雨によって河川の水位が高くなると堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊することがあります。

避難のタイミング

タイムライン

災害が発生するおそれが高まった時に、気象庁や東金市から5段階の警戒レベルが発表されます。警戒レベルに応じて、安全な避難行動をしてください。

危険度の高まりに応じて段階的に発表される防災気象情報ととるべき行動

警戒レベル	避難情報等	防災気象情報	気象情報
5	すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。今いる場所よりも、安全な場所へ直ちに移動等しましょう。	大雨特別警報 氾濫特別警報 土砂災害特別警報	災害が発生または切迫
4	道路冠水や土砂崩れ等により、避難が困難な状況になる前に避難を完了しましょう。危険な場所にいる場合は安全な場所へ避難しましょう。自宅等から外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内より安全な場所に避難をしましょう。	大雨危険警報 氾濫危険警報 土砂災害危険警報	国土交通省・気象庁・都道府県が発表
3	避難の準備、避難に時間を要する方は早めに避難しましょう。正確な情報を入手しましょう。	大雨警報 氾濫警報 土砂災害警報	大雨の数時間～2時間程度前
2	ハザードマップ等で避難行動を確認しましょう。	大雨注意報 氾濫注意報 土砂災害注意報	大雨の半日～数時間前
1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報（警報の可能性）	大雨の数日～約1日前

<気象防災速報>
2026年（令和8年）5月下旬（予定）から気象庁より、線状降水帯の発生や、記録的な短時間大雨など極端な現象が発生または発生しつづける場合に連発的に伝える情報として、気象防災速報が発表されます。
※線状降水帯とは、次々発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなし、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過・停滞することで、同じ場所で非常に強い雨が降り続く現象です。

避難時に出される情報

避難情報と警戒レベル

風水害時には、警戒レベルや周辺の状況を確認し、東金市からレベルに応じた避難情報を発令します。

警戒レベル	種類	住民に求める行動内容
5	緊急安全確保	直ちに身の安全を確保しましょう。すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。「緊急安全確保」の発令を待ってはけません。
4	避難指示	危険な場所から全員避難しましょう。
3	高齢者等避難	避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、危険な場所から避難しましょう。また、高齢者以外の人も、必要に応じて、普段の行動を見合わせたり、避難の準備をして、危険を感じたら自主的に避難を開始するタイミングです。

避難情報が出ていない場合でも、身の危険を感じたら、すぐに避難しましょう。

情報伝達の流れ

東金市等から市民のみなさんへ、以下の方法で防災情報を発信します。

```

    graph LR
      A[東金市] --> B[緊急安全確保]
      A --> C[避難指示]
      A --> D[高齢者等避難]
      B --> E[防災行政無線]
      B --> F[防災情報メール(メール配信サービス)]
      B --> G[緊急速報メール(エアメール)]
      B --> H[ホームページ・X・LINE]
      B --> I[市広報車・消防団による広報]
      B --> J[報道(テレビ・ラジオなど)]
      C --> E
      C --> F
      C --> G
      C --> H
      C --> I
      C --> J
      D --> E
      D --> F
      D --> G
      D --> H
      D --> I
      D --> J
      E --> K[市民のみなさん]
      F --> K
      G --> K
      H --> K
      I --> K
      J --> K
  
```

情報の入手方法

緊急時の情報入手先

インターネットなどからも情報を入手できます。自ら情報を入手しましょう。

インターネット

- 東金市ホームページ <https://www.city.togane.chiba.jp/>
- 気象庁 <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- 東金市消防防災課公式X@tougane_bousai https://x.com/tougane_bousai
- 国土交通省 川の防災情報 <https://www.river.go.jp/index>
- 千葉県防災ポータル <https://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/>
- 気象庁 キキクル <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>
- 防災行政無線 <https://togane-city.site.ktaiwork.jp/>
- 銚子地方気象台 <https://www.jma-net.go.jp/choshi/>

東金市 LINE 公式アカウント

東金市では、LINE 公式アカウントで、あなたにあった情報発信を行っています。災害時には、状況の連絡も行えます。LINE の友だち追加画面で「検索」をクリックして友達追加してください。検索 ID 「@togane_city」

東金市防災メール

東金市では、防災行政無線の放送内容と同じ情報を、市民の皆さんに確実にお伝えするため、登録制メール「東金市防災メール」を配信しています。避難情報やアラートなどの防災情報、防犯情報、その他行政情報を配信しています。右のコードを読み取るか、bousai.togane-city@raid2n.ktaiwork.jpを直接入力し、空メールを送信することにより、登録の手続きをしてください。

避難方針

避難方針

内水ハザードマップや洪水・土砂ハザードマップで自宅等の浸水深を確認し、場所に応じた避難をしてください。

ハザードマップで自宅等を確認

浸水想定区域内
土砂災害警戒区域内

浸水想定区域外
土砂災害警戒区域外

自宅等にて避難（屋内安全確保）。

※土砂災害警戒区域や洪水の浸水想定区域に近い場合や危険を感じる場合は、必要に応じて避難しましょう。

立ち退き避難の必要性を確認

想定される浸水深より低い階に居る土砂災害警戒区域内
家屋倒壊等氾濫想定区域内

想定される浸水深より高い階のある場所に居る

自宅等にて避難（屋内安全確保）。

ただし、水が引くまで過ごすための飲料水・食料・携帯トイレなどの備えが必要です。

※目安は3日以上（推奨1週間）

自宅等は危険です。避難が必要な場合は、指定避難所等へ避難しましょう。
※親戚や知人宅への避難も検討しましょう。

避難の心得

避難の心得

避難時にあてないため、日ごろから避難の心得を覚えておき、必要なものを準備しておきましょう。また、みんなで避難の手順について話し合っておきましょう。災害時には、正確な情報を入手して、すばやく避難しましょう。

- 状況により、すばやく避難
避難情報などが発令されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。
- 家族には連絡メモを残そう
外出中の家族には「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておきましょう。
- わが家の防災メモを持とう
住所・氏名・連絡先などを記載した防災メモを用意し、身につけて避難しましょう。
- 集団で助け合おう
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。
- 車での避難は控えて
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は控えましょう。
- 安全なルートで避難
川べり、がけ沿いなどは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。
- 非常持ち出し品は最小限に
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。
- 指定避難所では指示に従いましょう
指定避難所に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。

日ごろの準備

自宅まわりの風水害対策

風水害による家屋の被害を抑えるために、日頃から家の周りの点検や整備を行いましょ。

- 屋根
瓦のひび・ずれなどはないか。トタンをめくれはけはないか。
- 雨どい・雨戸
雨どいには落ち葉や土砂が詰まっていないか。錆び目のはずれや塗装のはれはないか。雨戸には、雨戸にガタツキやゆるみはないか。
- 窓ガラス
ひび割れ、塗料のガタツキはないか。
- ベランダ
鉢植えや物干しなどおとす危険の危険性が高いものは室内へ移動できるようにする。
- 外壁
外壁に亀裂はないか。板壁の場合、腐りや浮きはないか。
- ブロック塀
ひび割れや破損はないか。
- 雨水溜まり
雨水溜まりの中が土砂などで詰まっていないか。雨樋の詰まりを定期的に清掃をしましょう。
- 周辺
家のまわりに、流されて倒壊を招かせてしまうようなものはないか。

非常時持ち出し品

非常時持ち出し品・備蓄品

非常時（避難時）に持ち出すものは、災害の発生に備えて、普段からリュックサックなどの非常用持ち出し品に準備しておきましょう。持ち出し品は最小限とし、両手は使えるようにしておきましょう。

非常時持ち出し品（例）※準備したものにチェックを付けましょう。

- 飲料水
- 食料（アルファ米・チョコレート・缶詰など）
- 眼鏡・コンタクトレンズ
- 携帯トイレ
- 携帯ラジオ
- 靴・スリッパ
- 衣類
- 生理用品
- 紙オムツ（乳幼児用・成人用）
- タオル
- ブランケット・寝袋
- 懐中電灯
- 救急用品（ばんそうこう・包帯・常備薬など）（いつも飲んでる薬は必ず入れよう！）
- 雨具（レインコート・折りたたみ傘）
- 貴重品（現金・通帳・マイナンバーカードなど）
- 筆記用具・ノート
- 乾電池・携帯充電器
- ナイフ・缶切り
- 洗面用具（歯ブラシなど）

使いながら備える「ローリングストック」

災害用に特別なものを用意するのではなく、日頃から食べ慣れているもの、使い慣れているものを多めに備蓄し、消費したものを補充することを「ローリングストック」といいます。3日以上先の食料・飲料水を備蓄しましょう！

ローリングストックのイメージ：
消費した分だけ購入 → 多めに備蓄 → ローリングストック → 古いものから消費

- ティッシュペーパー・トイレペーパー・ウェットティッシュ
- ポリ袋
- ヘルメット・防災ずきん
- 粉ミルク・液体ミルク・離乳食・母乳びん
- 手指消毒液・除菌シート
- マスク・体温計

立ち退き避難（水平避難）と屋内安全確保（垂直避難）

内水氾濫では、必ずしも立ち退き避難（水平避難）する必要はありません。想定されている浸水深が3m未満であれば、2階以上は安全です。自宅内や近隣の高い建物でも安全が確保されるのであれば屋内安全確保（垂直避難）できます。ただし土砂災害の危険性がある場合は、屋内でもがけ等と反対側に移動するようにしましょう。命を守る行動が避難行動です。

危険な避難

危険な場所からはなれる（立ち退き避難）

高所への避難（屋内安全確保）

土砂災害の危険がある場合がけと反対側の2階以上へ避難します。何よりも命を守る行動を！！

自宅内や近隣建物に安全な場所がある場合は、無理に立ち退き避難せずに自宅等にて避難することも検討してください。

大雨時に危険な場所

指定緊急避難場所や指定避難所までの路上には、いろいろな危険が潜んでいます。日頃から身の回りの様子を観察し、大雨のときに注意すべき場所を確認し、ハザードマップに書き込んでおきましょう。

- 地下道（アンダーパス）
地下道（アンダーパス）は、大雨時には周辺から水が流れ込み危険です。
- 土砂災害警戒区域等
「がけ崩れの危険がある区域」「がけ（急傾斜地）」は、大雨が降ると崩れるおそれがあります。大雨時には近づかないようにしましょう。また、「がけ」の近くに住宅がある場合には、早めの避難を心がけましょう。
- 水路の周辺
水路には、ガードレール等の柵がないことがあります。浸水時には、水路の場所が分からなくなり、誤って落下し、流される危険があります。
- 浸水実績箇所
周辺よりも低くなっていることが多く、水が溜まりやすいため、注意が必要です。

大雨時の地下は注意が必要

洪水や豪雨時の地下施設、地下室などは危険です。地上の浸水状況とは大きく異なり、冠水や停電の危険性が高いため、特に早めの避難が必要です。

- 地上が浸水すると一気に水が流れこみます
- 浸水すると電気が消えることがあります
- 地下駐車庫、地下住宅では、排水ポンプを停止し、浸水に備えましょう
- 水圧でドアが開かなくなることがあります

家庭でできる簡易水防

浸水が浅い場合には、土のう（なげれば水のう）を設置することで、浸水防止に活用できます。

簡易水防1 プランター+ビニールシート

床下が浸水すると、床下収納のふたが開いて、水が入ることがあります。重しを置いて、水の浸入を防ぎましょう。

簡易水防2 簡易水のう+止水板

ひもやテープでしっかりと縛る。段ボールに入れて固定しやすく強度も上がる。

台所

3日以上先の食料・飲料水を備蓄しましょう！